

株式会社ブロードバンドセキュリティ
2021年6月期 第1四半期決算説明資料



2020年11月13日

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2021年6月期 第1四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて



2021年6月期 第1四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

2億8,924万円

決算期

6月

株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場
上場日：2018年9月26日
株式コード：4398

従業員数

205名 (2020年6月末現在、派遣、業務委託等を除く)

代表者

代表取締役 最高経営責任者 (CEO) 持塚 朗
代表取締役 最高執行責任者 (COO) 滝澤 貴志

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
海外：韓国支店
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

関連会社

BroadBandSecurity Assessment(Thailand)
Company Limited
(タイ、バンコク)

(2020年11月13日現在)

ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する セキュリティサービスプロバイダー

BBSec は、悪意ある攻撃から組織の情報資産を守り、組織がその情報資産をもとに適正に成長していくことを支援するセキュリティ専門事業者です。対策に欠かせないIT / 組織両視点からのサービスは、お客様の規模や対策の推進状況にかかわらず、今必要とする最適な「答え」をご提供いたします。

セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示いたします。

脆弱性診断

お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューを取り揃えております。

情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制で支援いたします。



セキュリティ監査・コンサルティングサービス

お客様システムの可視化、課題抽出、課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織双方を対象とした各種サービスは、企業のセキュリティにおける盲点を発見し、実現可能な解決策をご提示いたします。



コンサルティング

- セキュリティ・アドバイザー
- CSIRT 構築 / 運用支援
- Shift Left コンサルティング
- セキュリティログ分析 / 活用支援



アセスメント

- リスクアセスメント
- 産業用制御システム向けリスクアセスメント
- QR コード決済事業者向けリスクアセスメント
- 自己問診型セキュリティリスクアセスメント
- テレワーク環境情報リスクアセスメント



設定評価

- ネットワーク機器設定評価
- 無線LAN 調査
- データベース設定評価
- 感染端末調査



教育

- 標的型攻撃メール訓練



セキュリティ認証取得

- PCI 準拠支援 / オンサイト評価
- 日々ログ
- クレジットカード情報非保持化支援
- PCI 準拠維持支援
- SAQ 準拠維持支援
- PCI ウォークスルー



提供サービス

脆弱性診断サービス

お客様システムに潜む脆弱性を検証するサービスです。新規開発時だけでなく、運用中のアプリケーションにも定期的にも実施すべきプログラムです。



脆弱性診断

- WEBアプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- ソースコード診断
- ハイブリッド診断
- 標的型攻撃リスク診断
- ペネトレーションテスト



脆弱性診断保守

- デイリー自動脆弱性診断
- WEBサイトコンテンツ改ざん検知
- ソースコード自動診断



クラウドセキュリティ

- クラウドセキュリティ設定診断
- パブリッククラウド向け診断

情報漏えいIT対策サービス

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用をセキュリティのプロフェッショナルが
24時間・365日体制で支援いたします。



セキュリティ運用支援

- マネージドセキュリティ
- WAF運用
- IDS/IPS、UTM、ファイアウォール運用
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援
- 脆弱性情報提供
- セキュアメール



緊急対応

- 緊急コンタクトセンター
- デジタルフォレンジック



当社の強み

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

ニュートラル



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

技術対応力



経験、知識、情報網を核とした
最先端の技術対応力

信頼性



サービスご利用の高いリピート率が
示す高信頼性

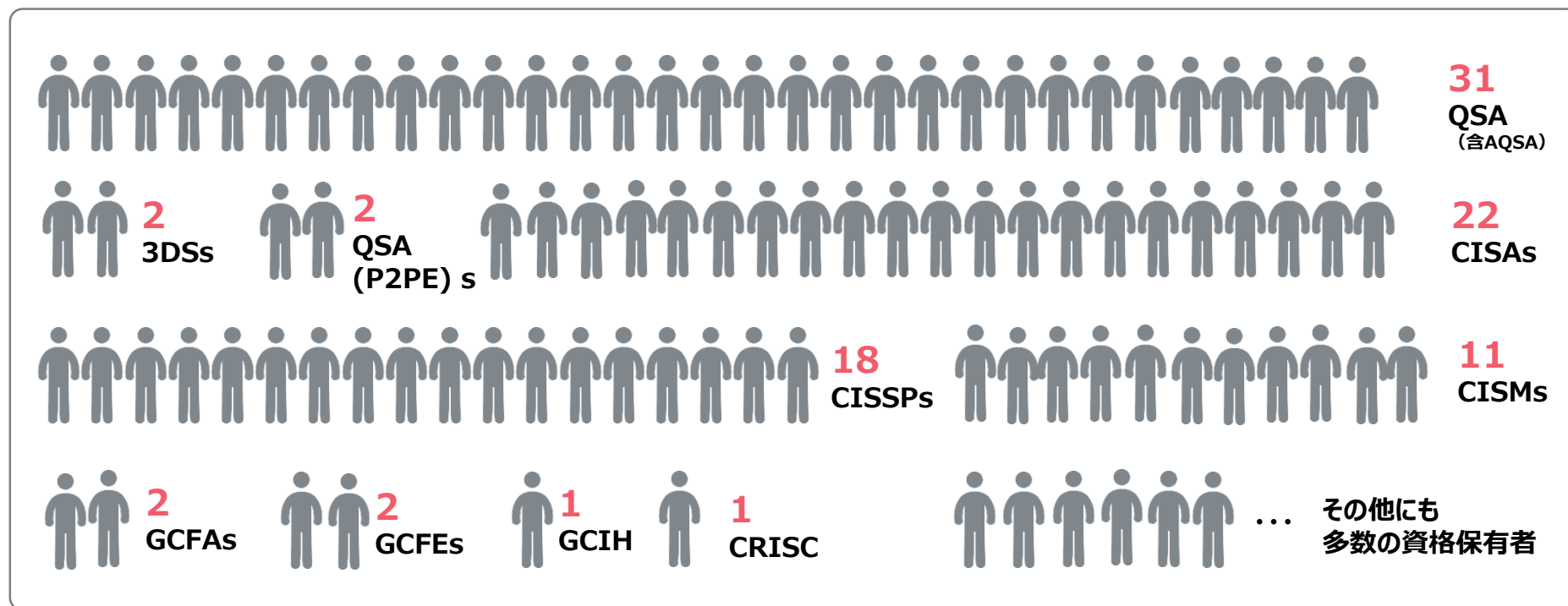
ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

高い技術対応力

セキュリティの公的資格をもつ技術者が多数在籍。
多角的にお客様のセキュリティ対策を検証・支援いたします。



QSA: Qualified Security Assessor
AQSA: Associate Qualified Security Assessor
QSA(P2PE): QSA (Point-to-Point Encryption)
3DS: 3-D Secure Assessor
認証機関: PCI Security Standards Council

CISSP: Certified Information Systems Security Professional
認証機関: International Information Systems Security Certification Consortium (ISC)²

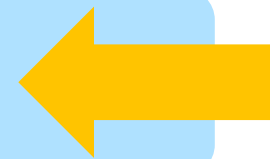
GCFAs: Certified Forensic Analyst
GCIH: Certified Incident Handler
GCFE: Certified Forensic Examiner
認証機関: Global Information Assurance Certification

CISA: Certified Information Systems Auditor
CISM: Certified Information Security Manager
CRISC: Certified in Risk and Information Systems Control
認証機関: Information Systems Audit and Control Association (ISACA)

2020年10月現在

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2021年6月期 第1四半期 業績サマリー



トピックスのご紹介

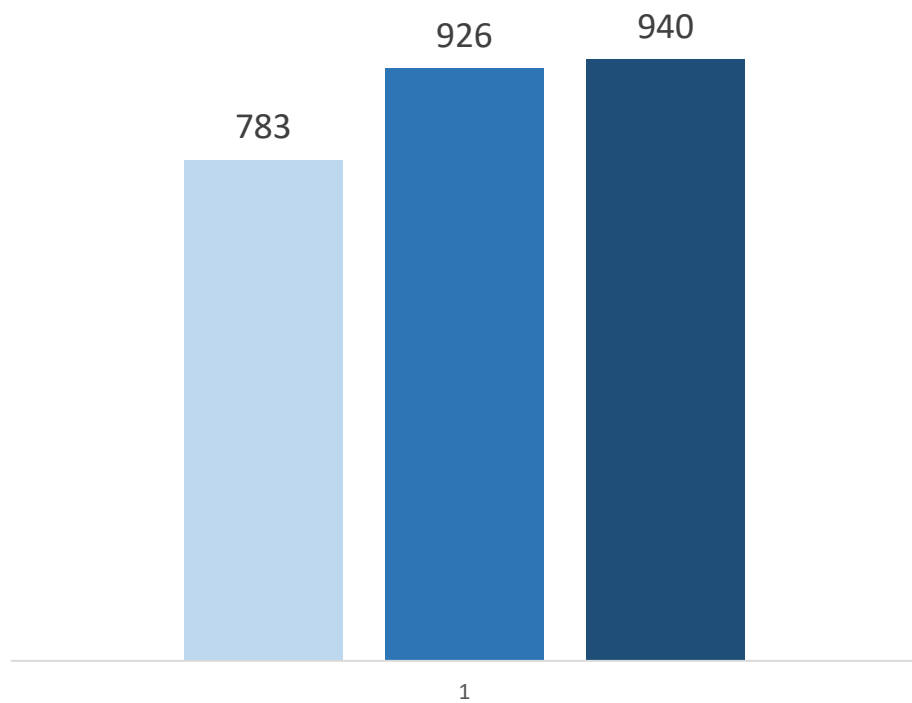
売上高は1Qとして過去最高を更新 経常利益、当期純利益は前年同期と同水準

単位：百万円

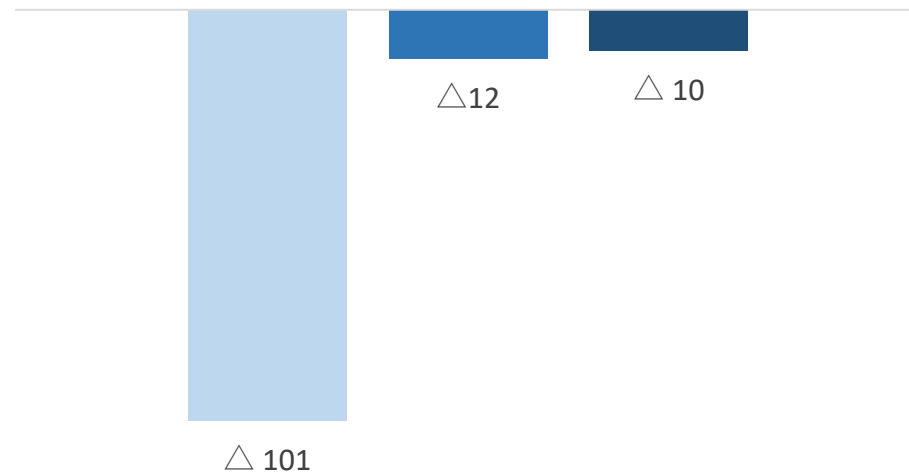
科目	2019年6月期 1Q累計実績	2020年6月期 1Q累計実績	2021年6月期 1Q累計実績	前年同期比		科目別増減ポイント
				増減額	増減率	
売上高	783	926	940	+13	+1.5%	
セキュリティ監査・コンサル	147	135	139	+4	+3.0%	クレジットカード業界向けが下げ止まり
脆弱性診断	199	305	278	△ 27	△ 8.9%	前期と比較すると減となるも、予定通りに推移
情報漏えいIT対策	436	485	522	+36	+7.5%	継続系サービスが牽引し増
売上原価	681	719	732	+12	+1.8%	機器販売等の直接原価増（+22）、一方、旅費や償却費等の間接原価が減少（△10）
販売費及び一般管理費	175	208	216	+8	+4.1%	人件費増（+17）採用手数料、旅費等減少
営業利益	△ 73	△ 1	△ 8	△ 7	-	
経常利益	△ 101	△ 12	△ 10	+1	-	営業外費用（為替差損）の減少
当期純利益	△ 71	△ 10	△ 9	+1	-	

売上高および利益推移

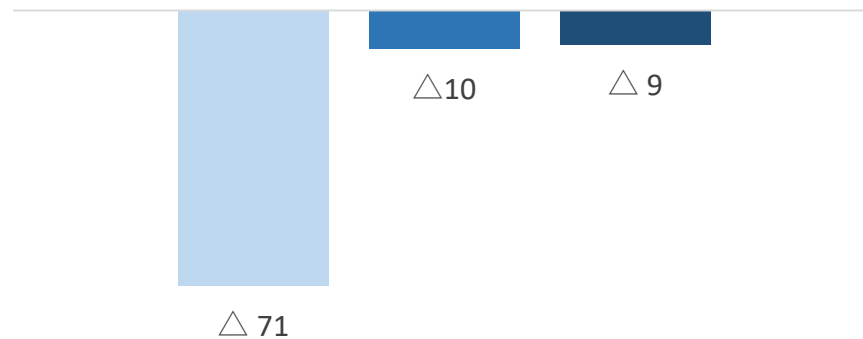
売上高推移 (1Q)



経常利益推移 (1Q)



当期純利益推移 (1Q)



■ 2019年6月期 ■ 2020年6月期 ■ 2021年6月期

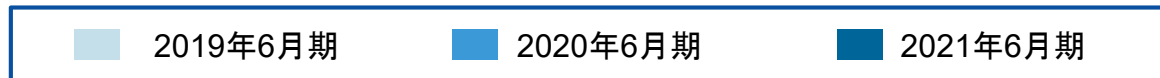
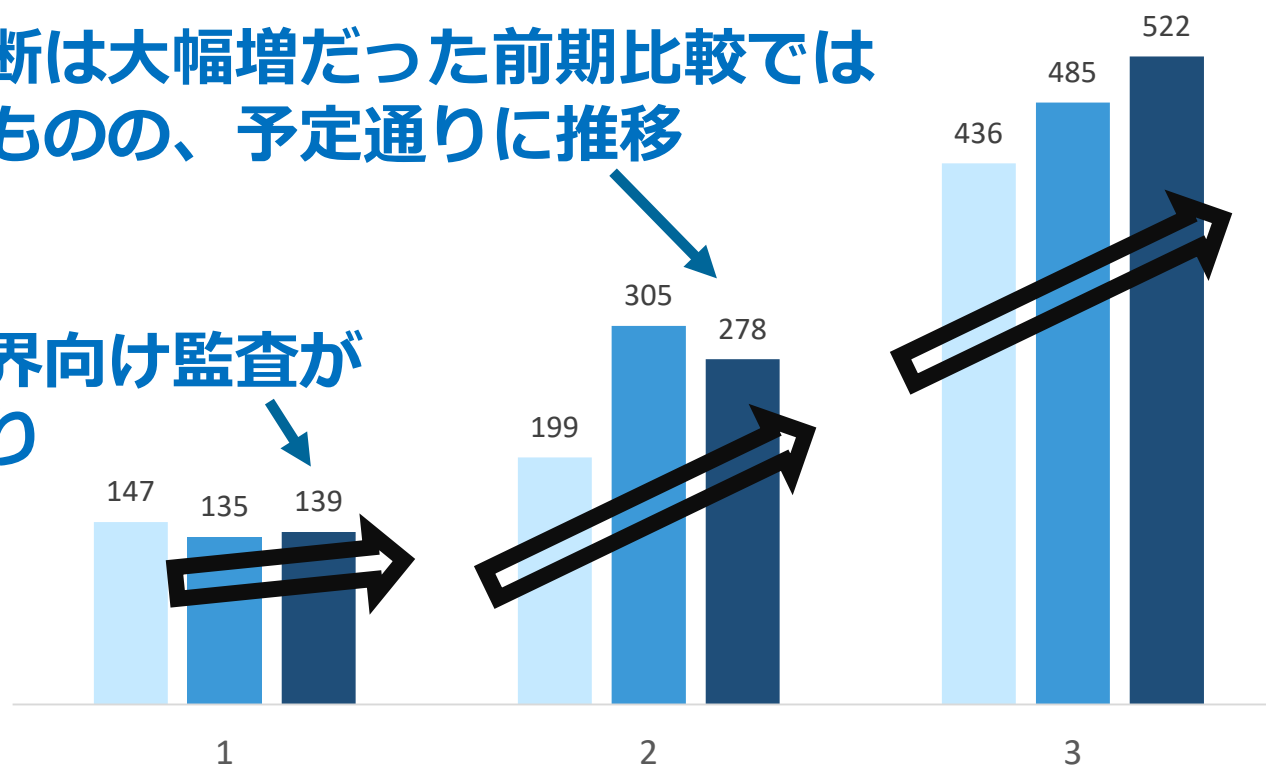
単位：百万円

サービス区分別 1Q売上高推移

情報漏えいIT対策は継続系を中心に積みあがる

脆弱性診断は大幅増だった前期比較では減となるものの、予定通りに推移

カード業界向け監査が下げ止まり



数値は1Q期間
単位：百万円

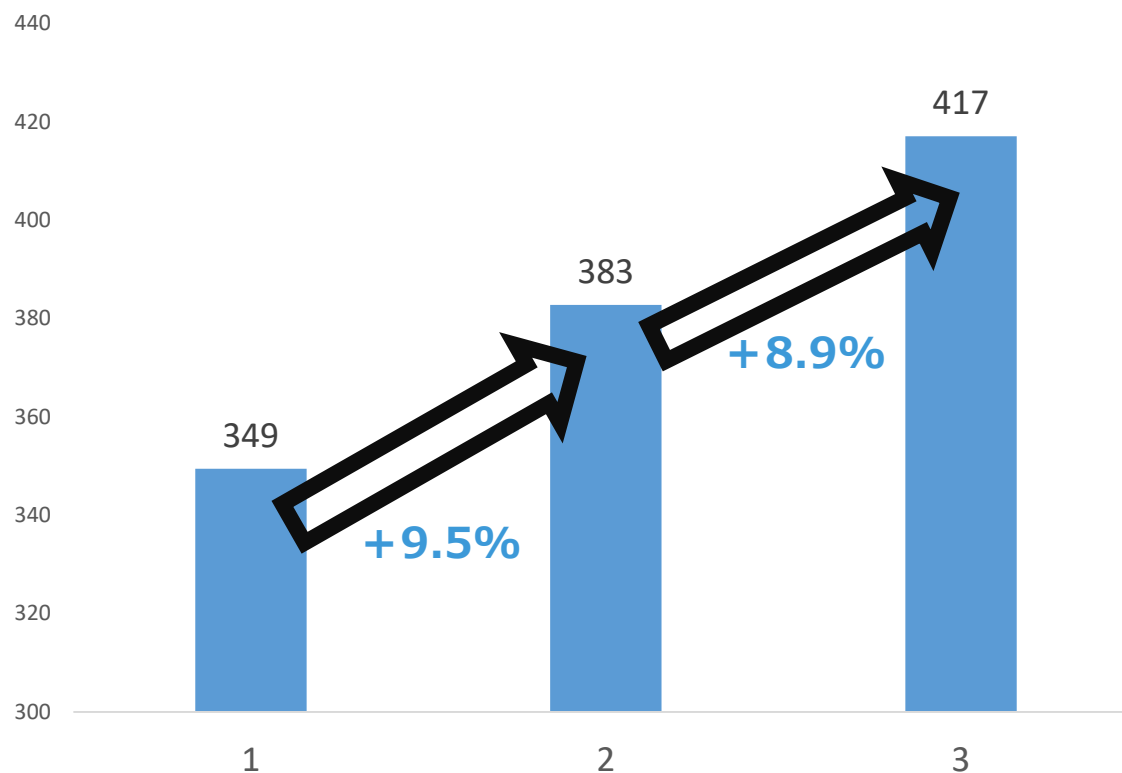
継続品目の積み上げが、今後の売上に寄与

情報漏えいIT対策サービスにおける、継続品目の売上高が
着実に積みあがる
= 2Q以降および来期に向けた収益基盤が拡大

情報漏えいIT対策に占める継続品目売上推移

(1Q比較)

単位：百万円



2021年6月期予想（2020年8月13日発表内容から変更なし）

1. 売上高増加率は前期実績（+13.8%）より保守的に計画（+9.7%）
2. 全ての売上区分において増収を計画
3. 一人当たり営業利益の向上を目指し、将来的に売上高営業利益率10%へ

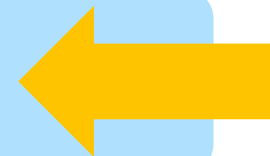
単位：百万円

科目	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 通期予想	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	4,176	4,580	404	+9.7%
セキュリティ監査・コンサル	681	810	129	+18.9%
脆弱性診断	1,402	1,575	173	+12.3%
情報漏えいIT対策	2,092	2,195	103	+4.9%
売上原価	2,947	3,171	224	+7.6%
販売費及び一般管理費	886	1,008	122	+13.8%
営業利益	342	400	58	+16.9%
売上高営業利益率	8.2%	8.7%	+0.5p	
経常利益	314	381	67	+21.3%
売上高経常利益率	7.5%	8.3%	+0.8p	
当期純利益	218	296	78	+35.7%

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2021年6月期 第1四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介



2020年7月以降の主なニュースリリース

- 7月 「SQAT®ペネトレーションテスト」の提供開始
- 8月 「クラウドセキュリティ設定診断サービス」の提供を開始
- 8月 「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」の提供を開始
- 8月 「2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable」日本企業初選出
- 9月 日本企業として初めて、SWIFT CSPアセスメントプロバイダに正式登録
- 9月 大日本印刷株式会社と資本業務提携
- 10月 株式会社フーバーブレインと業務提携

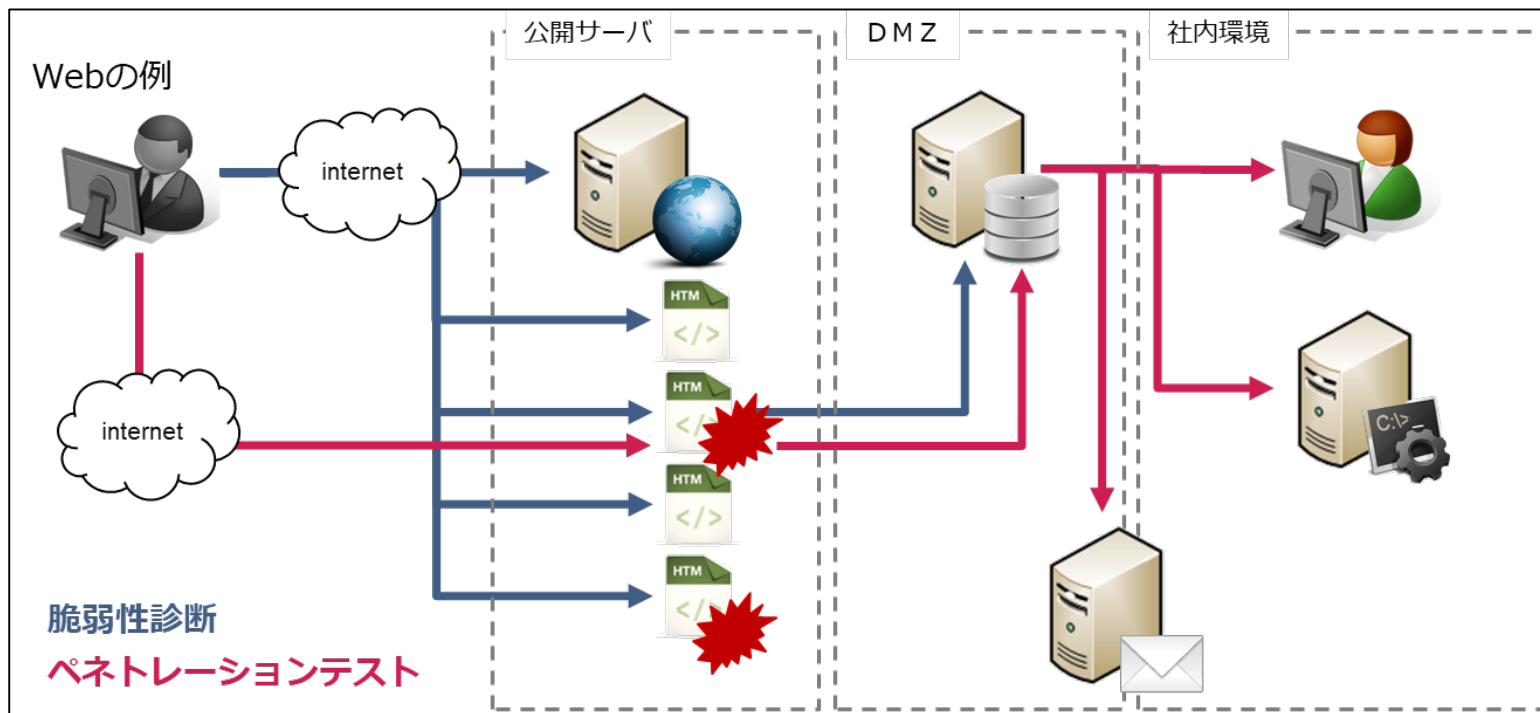
当期のトピックのご紹介

2020/7

「SQAT®ペネトレーションテスト※」の提供開始

多様なシナリオによる疑似攻撃でシステムを包括的に診断し、被害を最小化

※事前の綿密な調査により特定した「システムのより弱い個所」を起点としてシナリオベースの疑似攻撃を仕掛け、システムの堅牢性を確認する検査。



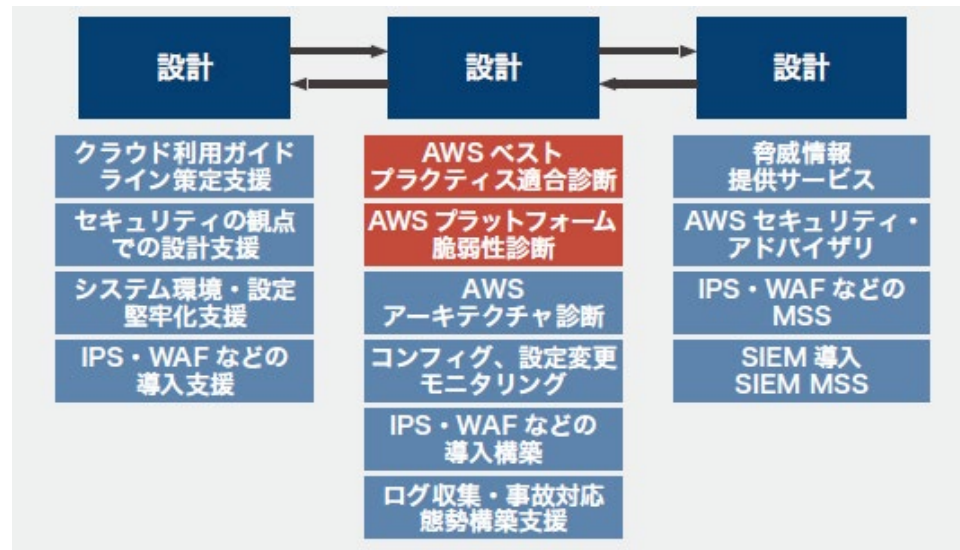
当期のトピックスのご紹介

2020/8

「クラウドセキュリティ設定診断サービス」の提供を開始

従来提供していたAmazon Web Services向けのセキュリティ設定診断サービスに、Microsoft Azure、Google Cloud Platformを加える。

独自のチェック項目で、マルチクラウド環境をカバー

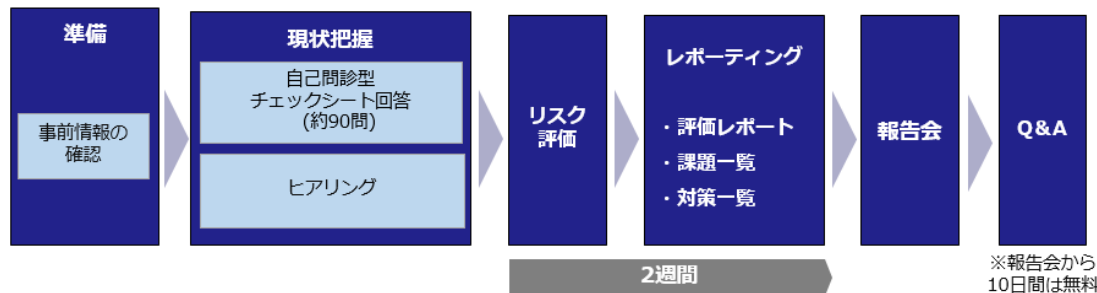


2020/8

「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」の提供を開始

テレワークに特化した迅速なアセスメントで新しいビジネス様式に対応

サービスフロー



当期のトピックスのご紹介

2020/8

国際的なクレジットカード業界のセキュリティ基準団体の円卓会議 「2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable」 に日本企業として初めて選出

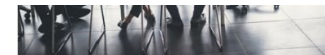
GEARとして選出された背景※

- ・2008年からQSA（認定評価機関）としての長期にわたる活動（要件7年以上）
- ・日本、韓国、タイの3か国での活動実績
- ・PCI P2PE、PCI 3DSといった複数基準の評価機関認定

※当社推定

concerns relating to assessments and assessor programs, representing the perspectives of the PCI assessor community.

Read more about the program's successful inaugural run and what can be expected from the GEAR in the future [here](#).



2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable



https://www.pcisecuritystandards.org/get_involved/global_executive_assessor_roundtable

当期のトピックスのご紹介

2020/9

国際送金ネットワークSWIFT ユーザへの評価・コンサルティングサービスの提供を開始 ～日本企業として初めて、SWIFT CSPアセスメントプロバイダに正式登録～

SWIFT は2020年より、国際送金ネットワークSWIFT に接続するユーザに、内部評価もしくは外部評価を年次で受けることを要求しています。

SWIFT の外部評価を実施するためには、評価会社が過去12カ月以内にサイバーセキュリティの運用評価を実施していることが必須です。

この評価は、PCI DSS、ISO 27001、NIST SP 800-53、NIST サイバーセキュリティフレームワーク、または、CSP/CSCF などの業界標準に従って実施されていなければなりません。

かつ、評価人が、PCI DSS 評価人であるQSA (*4) や、公認情報システム監査人 (CISA)、公認情報セキュリティマネジャー (CISM) などの資格を一つ以上保持することが必須です。

BBSec は、PCI DSS 監査での豊富な見識を有するQSAをはじめ、これらの要件を満たす評価人を29名 (日本17名、韓国9名、タイ3名) 有しており、APAC (アジア太平洋) 地域へ広く評価サービスを展開して参ります。

これまでのセキュリティ監査、コンサルティングで培った知見に基づいて、SWIFT ユーザ各社様に、高品質な評価・コンサルティングサービスを提供いたします。

当期のトピックスのご紹介

2020/9

大日本印刷株式会社と、資本業務提携

～脆弱性診断、コンサルティング、専門人材育成事業等で連携～

主な業務提携の概要

脆弱性診断と セキュリティコンサル

両社の「技術力」と「営業力」を組み合わせ、テレワークなどにより新たに導入したクラウドやモバイル環境の脆弱性対策のコンサルティングやサービスを提供

セキュリティ人材育成

情報セキュリティに関する高度な技術で、サイバー攻撃に対応するCSIRT※などのセキュリティ人材の育成事業、コロナ対策としてのオンライン講座など

セキュリティラボ

国内外のセキュリティ対策に関する製品・サービスの調査と評価、グローバルなセキュリティインシデント情報や、その他の情報の収集と分析等を行うラボを開設

今後の展開

今回の提携による効果が順調に推移していく場合、引き続きさらなる資本業務提携の強化も検討

※ CSIRT : Computer Security Incident Response Team

当期のトピックスのご紹介

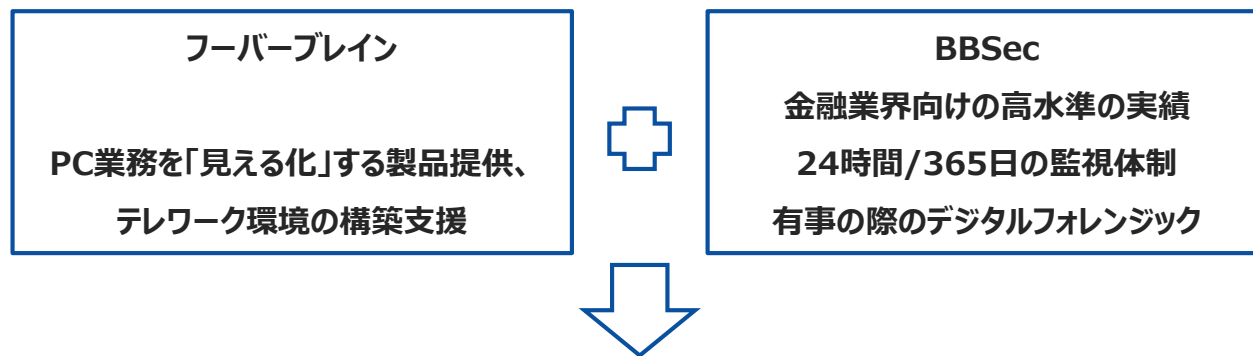
2020/10

株式会社フーバーブレインとの業務提携

～総合的なセキュリティサービスの提供や、テレワーク環境構築に向けて～

業務提携の背景

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が治らない中、テレワークの実施を迫られる企業が拡大。短期間でテレワーク環境を構築/ 運用し、情報セキュリティに関する懸念の声が増大



- 1) 大手SIerを通じた総合的なセキュリティサービスの提供
- 2) セキュリティレベルの高いテレワーク環境の構築支援
- 3) セキュリティ技術全般に関する相談窓口の設置

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

お問い合わせ ir@bbsec.co.jp

<https://www.bbsec.co.jp/ir/>